

平成24年5月22日

担当 第6学年 菅原 崇志

1 ねらい

社会科の歴史学習の一環として博物館を利用し、遺跡の見学や体験学習を通して古代の人々の生活の様子を調べさせるとともに歴史への興味を持たせる。

2 評価

縄文のむらのくらしの様子に関心をもち、体験学習に生き生きと取り組むことができる。

3 学習活動について

社会科単元「米づくりのむらから古墳のくにへ」

自分たちの住む仙台市の遺跡や展示資料を見学したり体験したりすることによって、これからの歴史学習に対してさらに意欲を持たせる。

4 事前指導

- ・縄文時代についての知識の確認。
- ・地底の森ミュージアムや縄文の森広場の概要について説明し、関心を持たせる。
- ・活動内容や見学、体験学習の際のマナーの確認。

5 当日の指導（活動）内容

①縄文の森広場

- (1) 見学学習 「縄文の森広場 探検シート」を活用し、全体で館職員の説明を聞きながら学習する。
- (2) 体験学習 全体で館職員の説明を聞きながら、勾玉作りの体験をする。

②地底の森ミュージアム

- (1) 見学学習 「地底の森ミュージアム 学習ノート」を活用し、全体で館職員の説明を聞きながら学習する。
- (2) 体験学習 全体で館職員の説明を聞きながら、石器作りの体験をする。

6 当日の交通手段 貸し切りバス

7 事後指導

分かったこと、感想の記述、探検シートの記入

# 利用学習報告書

平成 24年 6月 8日  
担当 第6学年 菅原 崇志

## 1 事後指導について

### (1) 実施日

平成24年6月5日(火) 1～6校時

### (2) 主な内容

- ・社会科の授業で、展示学習の中で調べた事や受けた説明について確認しながら、旧石器時代と縄文時代の学習のまとめを行う。
- ・体験学習や展示学習を通して分かったことや感想を作文にまとめる。

## 2 送付する資料

児童生徒の学習後の感想(2名分)

地底の森ミュージアムでは、旧石器時代のことを教えてもらいました。旧石器時代は28000年ほど続いたと言われて、江戸時代は260年と比べて、すごく長い時代だったと感じました。

石器作りでは、角を削るのがうまくできて、鋭い切れ味の石器ができました。石器の石は山形の石で、昔の人は山形まで歩いて行き、その重い石を何個か担いで持って帰ってきていたと聞いて、旧石器時代の人々の苦勞を感じ、とても大切に道具を使っていたのだと考えました。

旧石器時代のことを地底の森ミュージアムで学びました。今と昔の仙台では生息している動物や木々の違い、湿地や沼地のそばで生活していたことなどを知りました。また、縄文時代と同じで、「狩り・採集・漁」で生活が成り立っていることを知り、とても勉強になり、驚きました。

今回、地底の森ミュージアムの校外学習で、旧石器時代の様々なことがとけたので、すごくよかったです。

